

こどもも花を咲かせます

5月2日(月)、中央地区連合町内会の役員がJR幌別駅西口広場花壇の草取りと周辺の清掃活動を実施しました。

花壇には雑草が生い茂っていたため、スコップやくわで土を耕しました。

花壇の中央には昨年の秋に水仙とチューリップの球根を植え可愛らしい花が乗降客をおもてなします。6月中旬には3千500株の花苗が植え込まれ美しい彩りで心を和ませます。



花の苗作りに挑戦

3月25日(金)、市連合町内会環境衛生部会では、花いっぱい推進事業の一環として、市内のフラワーマスター戸田憲吉さんとだけんきちの指導のもと、種から苗を育てる種植え講習会をリンクルセンターで開催し、各町内会から33人が参加しました。

マリーゴールドとサルビアの種を一粒ずつ丁寧に植え、愛情を込めて育て、6月に元気な花を町内会の花壇などに植えることを楽しみにしています。



ポイ捨てのないまちを目指して

4月17日(日)、『春のクリーン作戦』が市内68町内会で実施され、多くの市民が早朝から火バサミやごみ袋を手に、空き缶やタバコの吸い殻などのごみと不法投棄や放置された自転車50台を回収しました。

鷺別町の漁港周辺では、鷺別中学校ボランティア部の生徒も参加し、地域の方と一緒に捨てられたごみの収集に汗を流しました。



新入学児童を交通事故から守る

市連合町内会生活安全部会では、各町内会の協力をいただき、『新入学児童を交通事故から守る日』の運動を入学式の翌日から一週間行いました。

通学時間に車の通行の多い危険な場所で、高学年の児童の引率で通学する黄色いカバートのランドセルを背負った新1年生に交通安全啓発小旗を持って、「おはよう」、「車に気をつけて」と声かけを行っていました。

